

令和7年8月末の交通事故の特徴

発生件数	11,676件（	－779件）
死者数	50人（	－11人）
負傷者数	14,850人（	－1,195人）
飲酒事故	65件（	－1件）

【発生件数】

- 高齢者関連事故は4,090件（－196件）で微減
- 1当高齢運転者の交通事故は2,947件（－58件）と横ばい
- 歩行者関連事故は1,376件（－189件）で約1割減少
- 自転車関連事故は1,752件（－155件）で約1割減少
- こども関連事故は417件（－34件）で約1割減少

【死者数】

- 福岡地区が21人（－5人）、筑後地区が13人（±0人）の順に多く発生
- 高齢者の死者数は28人（－8人）で全死者数の約6割を占め、うち75歳以上（後期高齢者）が17人（－8人）と高齢者の約6割を占める
- 1当高齢運転者による死者数は12人（－7人）で約4割減少
- 歩行中死者数は23人（－3人）で全死者数の約5割を占める

【飲酒運転事故関係】

- 発生件数は65件（－1件）と横ばい
- 筑豊地区が8件（＋8件）と増加
- 郡部（町村）での発生が9件（＋5件）と増加
- 酒酔いが4件（＋2件）、基準以下が8件（＋6件）と増加
- 死者数は1人（±0人）と横ばい
- 6～8時が13件（＋4件）、4～6時が8件（＋3件）の順に多く発生
- 2～10時が33件（＋10件）と増加、10～20時が18件（－9件）と減少

注 （ ）の数値は、前年同期比